

# Office 365 FastTrack

## ステップ 1 ガイド

### ステップ 1: パイロットをセットアップする

現在ご利用中の環境を混乱させることなく、Office 365 の使用を開始します。約 1 時間の作業で以下のことが可能になります。

- デスクトップ、携帯電話、タブレットでの電子メールの利用と生産的な活動
- 新しい Office デスクトップ アプリケーション、SharePoint Online、Office Online を使用した、オンラインでのドキュメント作成と共同作業
- Lync Online を使用した複数人とのオンライン会議やコミュニケーション

### 始める前に

Office 365 の価値を最大限に活用できるようにするために、ご自身およびパイロット ユーザーの環境がシステム要件を満たし、インターネット接続が適切にされていることを確認してください。

- **システム要件:** すべてのパイロット ユーザーが、基本的な[デスクトップ要件とモバイル要件](#)を満たしていることを確認します。
- **インターネット接続:** ファイアウォールを使用して Web へのアクセスを制限している場合は、ポート 80 とポート 443 で未認証のアクセスが許可されていることを確認します。パイロットから実際の運用環境に移行するには要件が変更となる可能性があります、パイロットに必要なのはこの設定のみです。

### Office 365 にサインアップする

試用版へのサインアップは非常に簡単で、わずか数分で完了できます。クレジットカードも必要ありません。試用版は 30 日間無料で使用でき、最大 25 ユーザーでパイロットを共有できます。試用版にサインアップする際は、以下の重要ポイントに注意してください。

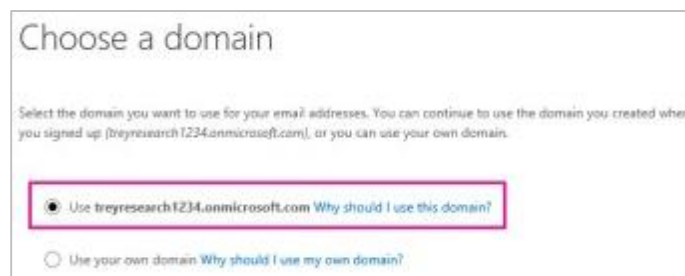
1. 組織名は慎重に決定してください。この名前はパイロット終了後、最終的な導入プランに入る際も引き続き使用します。また、パイロット ユーザーが認識しやすく、覚えやすい組織名を選ぶことも重要です。たとえば、組織名を「Contoso」に決定した場合、サービス URL の中では次のように使用されます。
  - サインインの資格情報と電子メール アドレス: user@contoso.onmicrosoft.com
  - チーム サイト: http://contoso.sharepoint.com
  - ニュースフィード: http://contoso-my.sharepoint.com
2. サインアップが完了すると、最初の管理者として試用版にログインした状態になりますが、Office 365 FastTrack に戻って引き続きパイロットの設定を行います。
3. 設定が完了したら、Office 365 [Enterprise](#) または [Education](#) の試用版にサインアップしましょう。試用版のアカウントを既に持っている場合は、[こちらからサインイン](#)してください。

最新情報については、<http://fasttrack.office.com/> をご覧ください。

## パイロット ドメインをセットアップする

Office 365 にサインアップしたときに、既定ドメイン (貴社専用の onmicrosoft.com ドメイン) が同時に作成されます。これを使用してパイロットをセットアップします。このドメインを使用することにより、既存の DNS レコードに変更を加えることなく、簡単にパイロットを開始できます。パイロットを運用するために onmicrosoft.com ドメインを構成する方法は以下のとおりです。

1. Office 365 管理センターで、ページ左側の **[セットアップ]** をクリックします。
2. クイック スタートのセクションで、**[スタート]** をクリックします。
3. **[ドメインを選択する]** ページで、onmicrosoft.com ドメインを選択します。



4. **[次へ]** をクリックして続行します。

## ユーザーを追加する

この時点ですべてのパイロット ユーザーを追加することが可能になりますが、最初は数人だけを追加して、後で残りのユーザーを追加することもできます。多くの組織では、最初にパイロットをヘルプ デスクと IT スタッフ (他のパイロット ユーザーをサポートする役割を担うため) に開放し、その後で主要なビジネス ユーザーに開放しています。このような 2 段階のプロセスを行う場合は、すべてのパイロット アカウントをこの時点で作成しておき、その後、パイロットに参加する各グループについて準備が整ったらサインイン情報をユーザーに提供するという方法を検討してください。

1. はじめに、Office 365 管理センターで [ユーザーを 1 人ずつ追加](#) します。パイロットに追加するユーザーの数が少ない場合はこの方法が最も簡単です。多数のユーザーを一括で追加する場合は、[CSV ファイルを使って複数のユーザーを一括インポートするか、Office 365 用 Windows PowerShell コマンドレット](#) を使用します。

## 既存の電子メール アカウントを接続する

パイロット ユーザーは、既存のメールボックスから電子メールを送受信できます。「接続されているアカウント」を使用するので、電子メールを移行する必要は一切ありません。接続されているアカウントの機能では、現在の受信トレイの電子メールのコピーが Office 365 の受信ボックスにダウンロードされ、すぐに利用できるようになります。また、ユーザーは、複雑なメール ルーティングに悩むことなく、既存の電子メール アドレスでメールを送受信することもできます。

- 組織内のメールボックスへの POP3 または IMAP4 アクセスを既に構成している場合、必要な準備は、接続されているアカウントを自身の管理者メールボックスに追加できることを確認するだけです。パイロットのユーザーに対してこれらのプロトコルを有効にしていない場合は、プロトコルを有効にしてから、接続されているアカウントが正常に機能することを確認します。 [接続されているアカウントの設定方法を参照してください。](#)

最新情報については、 <http://fasttrack.office.com/> をご覧ください。

## パイロット用にチームのグループ作業サイトをセットアップする

- Office 365 へのサインアップ時にいくつかのサイト コレクションが自動的に作成されますが、パイロット用に新たにプライベート サイト コレクションを作成してから、パイロット ユーザーと協力してチームのグループ作業をテストすることをお勧めします。新しいサイト コレクションであれば、自由にテストを行うことができます。また、パイロットの終了時にそれを削除することにした場合でも、サインアップ時に自動的に作成されたオリジナルのプライベート サイト コレクションを削除すると問題が生じる可能性があります。新しく作ったサイト コレクションであれば削除時に問題が起きることもありません。[新しいサイト コレクションを作成する方法を参照してください。](#)


## パイロット ユーザーを準備する

- こちらの[テンプレート](#)を使用して、Office 365 パイロットに間もなく参加するパイロット ユーザーに情報提供を行います。このテンプレートには、歓迎のメッセージと Office 365 の概要が含まれています。これを編集して、パイロット期間中にユーザーに何を期待しているのかを伝えるようにします。

## テスト運用をする

- パイロット運用に向けてすべてのサービスの準備が整ったら、パイロット ユーザー全体を追加する前に、自身、または少数の先行パイロット ユーザーで一部の機能を試す時間を確保してください。メールを送信し、OneDrive for Business や最初のチーム サイトでドキュメントを共有し、開始プランを検討するオンライン会議を設定します。こうしたテスト運用を通じて、ユーザーのためにパイロット運用の骨組みを作っておけば、最初から効率良く進めることができます。また、Office 365 の管理機能を試してみることもできます。[Discover Office 365](#) では、さらに多くのアイデアを紹介しているのでご参照ください。

## パイロット運用を始める

- Office 365 を他のパイロット ユーザーに提供開始する準備が整ったら、[こちらのテンプレート \(英語\)](#) を使用して、使用開始に必要な以下の情報を記載した電子メールを各ユーザーに送ります。
  - Office 365 ポータルにアクセスする URL: <https://portal.microsoftonline.com>
  - Outlook Web App にアクセスする URL: <http://mail.office365.com>
  - モバイル デバイスを設定するためのメニュー選択: [設定]  > [Office 365 の設定] > [はじめに] > [電話およびタブレット]
  - Office 365 の使用に関するヒントとアイデアが掲載されている、[Discover Office 365](#) と Office 365 へのリンク
  - ヘルプが必要な場合の連絡先 (組織内の IT サービス デスク)

## パイロットの完成

- これで完成です。パイロットがセットアップされました。Office 365 を 30 日間ご自由に使用していただけます。Office 365 を組織全体に展開する準備が整ったら、[Office 365 FastTrack](#) のステップ 2 の説明を参照してください。

最新情報については、<http://fasttrack.office.com/> をご覧ください。